



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月24日

上場会社名 株式会社ヤマナカ 上場取引所 名
 コード番号 8190 URL https://www.super-yamanaka.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)中野 義久
 問合せ先責任者 (役職名)管理ユニット長 (氏名)野間 祐也 (TEL) 052-937-9310
 四半期報告書提出予定日 2022年1月25日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年3月21日～2021年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	72,204	△3.7	701	△54.3	810	△50.6	493	△31.0
2021年3月期第3四半期	74,942	4.0	1,534	—	1,641	—	715	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 253百万円(△73.8%) 2021年3月期第3四半期 964百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	25.76	—
2021年3月期第3四半期	37.37	—

(注) 営業収益は、連結損益計算書の「売上高」と「営業収入」を合計して記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	40,065	16,637	41.5
2021年3月期	42,163	16,573	39.3

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 16,637百万円 2021年3月期 16,573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2022年3月期	—	5.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年3月21日～2022年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,800	△5.0	1,000	△51.2	1,100	△49.2	750	△16.4	39.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	20,425,218株	2021年3月期	20,425,218株
2022年3月期3Q	1,265,127株	2021年3月期	1,270,577株
2022年3月期3Q	19,158,811株	2021年3月期3Q	19,154,660株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 期末自己株式には、「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2022年3月期3Q102,800株、2021年3月期108,300株)が含まれております。また、期中平均株式の算定上控除する自己株式には、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2022年3月期3Q104,100株、2021年3月期3Q108,300株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないなか、ワクチン接種率上昇に伴い新規感染者数が減少し、移動や外出などの制限が緩和されるなど回復の兆しが見られたものの、新たな変異株の出現や再度の感染拡大に対する懸念もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

食品小売業界におきましては、コロナ禍における消費動向の変化に加え、原材料及び原油価格の高騰による食品価格の上昇や、業種・業態を超えた顧客獲得競争の激化など、食品スーパーを取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

こうした状況のなか、当社グループは、グループの使命「顧客価値創造」実践のため、グループ各社と連携を図りながら、お客様に提供する商品・サービス・接客のレベルを高めるとともに、地域社会への貢献や地球環境に配慮した活動を行っていくことなどにより、お客様に当社グループの価値を認めていただけるよう、成長戦略として、①顧客価値創造の実践、②従業員の成長戦略、③業務改革の断行、④リスクマネジメントの適正化に取り組んでおります。

顧客価値創造の実践では、2022年2月の創業100周年に向けて、お取引先様と連携しお客様への感謝の気持ちを込めた商品を記念商品として計画しており、一部商品は先行販売しました。また、ニューノーマルが定着してきたことによる家飲みやまとめ買い需要に対応するために、酒・おつまみや大容量・箱売り等の、WEBチラシによる訴求や店頭での拡売を実施しました。

2021年11月にはアスティ店(名古屋市千種区)をリニューアルオープンし、こだわり商品・地元商品など“ヤマナカ・フランテならではの商品”を豊富に取り揃え、生鮮売場を今まで以上に拡大し、おいしさや鮮度にこだわった季節感あふれる売場づくりで上質商品の拡販等を行いました。

また、リニューアル店で好調だった「お魚屋さんのお寿司」を既存店へ横展開も行いました。その他、販促の強化策として、デジタルサイネージを使ったレシピ動画・予約販売紹介等の配信拡大を行いました。

従業員の成長戦略では、従業員の成長・育成をさらに推進すべく、部下の公正な評価を行うための人事考課者研修をこれまでの管理職だけでなく、現場のチーフに対しても実施しました。また、従業員の長期的なキャリア計画策定の取り組みに着手しました。

業務改革の断行では、2021年9月21日付で本部組織の見直しを行うことで、経営課題への対応のスピードアップや責任体制の明確化、人材育成等を進めるとともに、本部人員の業務棚卸・業務の集約を実施し、店舗人員体制強化のため本部人員の一部を店舗に配置転換しました。また、新しいデジタルコミュニケーションツールを導入し、全店舗の売り場写真を共有し、売り場の改善を効率的に行うようにしました。

リスクマネジメントの適正化では、季節要因に基づき発生率が変動し経営に与える影響が高くなるリスクについてのリスクマネジメントを構築しました。また、社内重要文書の管理を徹底するために、デジタルトランスフォーメーションの推進として文書の電子化を行う等、管理方法の見直しに着手しました。

「当社グループは、企業理念の実現を目指し、使命である顧客価値創造の1つとして、ESG活動を継続的に取り組んでいく」ことを「ESG活動方針」として制定し、温室効果ガス削減、食品ロス削減、容器包装使用量削減の環境負荷低減の活動に取り組んでおります。温室効果ガス削減についての取り組みとして、「あいちCO2削減 Manifesto 2030」への宣言を行うとともに、レジ袋削減に継続的に取り組んできたことで、ごみゼロ社会推進あいち県民会議より8店舗が優良店として表彰していただきました。また、地域社会貢献活動として、ヤマナカグループとして特別協賛する「さわやか健康リレーマラソン」をあいち健康の森公園で開催し、運動イベントを通じて地域社会との繋がりを強化しました。昨年コロナ禍において店舗で実施出来なかった地元小学校の社会科見学について、リモートで対応することで社会科見学を無事開催することが出来ました。その他、連結子会社サンデイリー株式会社においては、商品の包装資材使用量を減らすため、薄型包装紙の導入や植物由来資源使用のバイオマスインキ印刷の導入を行いました。

これらの結果、当第3半期連結累計期間における経営成績は、巣ごもり消費の急拡大により販売が好調だった前年からの反動などもあり、既存店売上高が前年同期比97.1%と減少したことから、売上高に営業収入を加えた営業収益は、722億4百万円(前年同期比3.7%減)となりました。利益面においては、売上高の減少に伴い、営業利益は7億1百万円(前年同期比54.3%減)、経常利益は8億10百万円(前年同期比50.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億93百万円(前年同期比31.0%減)となりました。

なお、セグメント別の実績については、当社グループは「小売事業及び小売周辺事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ20億98百万円減少し、400億65百万円となりました。これは主に現金及び預金が16億8百万円、有形固定資産が2億17百万円、投資有価証券が3億37百万円減少したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ21億63百万円減少し、234億27百万円となりました。これは主に未払法人税等が6億50百万円、有利子負債が14億18百万円減少したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ64百万円増加し、166億37百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が2億23百万円減少したものの、利益剰余金が3億1百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、現時点においては、2021年7月26日公表の予想数値に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,599	2,991
売掛金	1,211	1,236
商品及び製品	2,524	2,861
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	148	73
その他	1,442	1,379
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	9,927	8,542
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,958	7,728
土地	13,366	13,366
その他(純額)	1,604	1,617
有形固定資産合計	22,929	22,712
無形固定資産		
借地権	268	259
ソフトウェア	429	395
その他	28	28
無形固定資産合計	727	683
投資その他の資産		
投資有価証券	3,031	2,694
差入保証金	4,641	4,496
繰延税金資産	26	14
退職給付に係る資産	541	603
その他	333	325
貸倒引当金	△49	△48
投資その他の資産合計	8,524	8,086
固定資産合計	32,181	31,482
繰延資産	53	39
資産合計	42,163	40,065

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,003	5,421
短期借入金	200	200
1年内償還予定の社債	1,330	1,450
1年内返済予定の長期借入金	1,923	1,479
未払費用	1,124	1,135
未払法人税等	666	16
賞与引当金	327	89
ポイント引当金	141	148
店舗等閉鎖損失引当金	19	19
資産除去債務	31	45
その他	2,901	2,604
流動負債合計	13,669	12,611
固定負債		
社債	3,885	2,435
長期借入金	4,972	5,320
リース債務	275	283
繰延税金負債	399	449
役員株式給付引当金	59	59
長期預り保証金	827	814
資産除去債務	1,293	1,274
その他	206	179
固定負債合計	11,920	10,816
負債合計	25,590	23,427
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,220	4,220
資本剰余金	6,538	6,538
利益剰余金	6,563	6,864
自己株式	△1,962	△1,958
株主資本合計	15,359	15,664
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,047	824
退職給付に係る調整累計額	165	148
その他の包括利益累計額合計	1,213	972
純資産合計	16,573	16,637
負債純資産合計	42,163	40,065

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年3月21日 至2020年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年3月21日 至2021年12月20日)
売上高	71,338	68,642
売上原価	52,662	51,204
売上総利益	18,675	17,438
営業収入	3,604	3,562
営業総利益	22,280	21,000
販売費及び一般管理費	20,745	20,299
営業利益	1,534	701
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	49	52
持分法による投資利益	10	12
その他	140	119
営業外収益合計	200	184
営業外費用		
支払利息	33	40
その他	60	35
営業外費用合計	94	76
経常利益	1,641	810
特別利益		
投資有価証券売却益	-	52
特別利益合計	-	52
特別損失		
固定資産除却損	40	33
減損損失	201	-
臨時休業等による損失	50	-
特別損失合計	292	33
税金等調整前四半期純利益	1,348	829
法人税、住民税及び事業税	447	168
法人税等調整額	186	167
法人税等合計	633	336
四半期純利益	715	493
親会社株主に帰属する四半期純利益	715	493

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年12月20日)
四半期純利益	715	493
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	224	△223
退職給付に係る調整額	25	△16
その他の包括利益合計	249	△240
四半期包括利益	964	253
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	964	253
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りにおいて、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載いたしました仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2020年3月21日 至 2020年12月20日)及び当第3四半期連結累計期間

(自 2021年3月21日 至 2021年12月20日)

当社グループは、「小売事業及び小売周辺事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。